

平成26(2014)年11月

保護者の皆様

豊能町立吉川小学校

校長 田和 嘉仁

### 全国学力・学習状況調査の結果および今後の取り組みについて

木々の葉が色づき、秋本番という季節になりました。保護者の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育推進にご支援ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて本年4月22日(火)に6年生が実施しました「平成26年度全国学力・学習状況調査」の本校の実態や課題を分析いたしました。その結果と今後に向けての取り組みを以下にお知らせします。

なお、豊能町の結果概要と分析、今後の取り組み等につきましては、11月の下旬に本町ホームページ(HP)に公開される予定ですのでご覧ください。

### 記

#### 【全体からみて】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

○国語のA問題B問題、算数のB問題は、大阪府平均、全国平均を上回る(2~10ポイント)結果であった。

○国語、算数ともどのような形の問題に対しても無解答率が低い。このことから、課題に対して積極的にとりくもうとする姿勢がうかがえる。

●国語では、自分の考えをまとめて書いたり、目的や意図に応じて書いたりするなど、「書くこと」の領域に課題が見られた。

●算数A問題では、「量と測定」「図形」の領域に課題が見られた。

#### 【国語の結果から】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

##### 《国語A》……右側が高い曲線

○朝学習、吉小タイム、放課後学習、家庭学習等、基本的な学習の繰り返しを行っていることが、正答率の高さに表れている。

○漢字の読み書きは定着している。

○言葉の意味と使い方や「～たり、……たり」の表現に直して書く。

○物語の登場人物の相互関係を捉えることができる。

●故事成語の意味と使い方。

●情景描写の効果を捉える。

●表現の仕方を捉える

⇒ 授業の中で指導及び再確認をする。

##### 《国語B》……中央より右側に山が二つある状態

○普段の授業だけでなく、朝読書やうちどく、読書週間など、読書に接する機会が増えていることが、正答率の高さに表れている。

○討論の様子を読み、話し合いの観点を整理したり、質問の意図をとらえたりすることができる。

○二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える。

●討論の様子を読み、自分の立場を明確にして質問や意見を述べる。

●長文を読み、分かったことや疑問に思ったことを整理しまとめて書く。

●二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。

⇒ 読解力の育成を図るとともに、資料などを参考に自分の考えを書く学習や文章の構造を考えるような学習を行う。

いずれも字数制限がある。

#### 【算数の結果から】(○→プラス傾向の力 ●→さらにつけたい力)

##### 《算数A》……ふたこぶらぐだ状態

○計算問題の正答率が高い。朝学習や吉小タイムなどの繰り返し学習の成果や家庭学習の定着が、大きな要因と考えられる。

●割合、単位量当たりの大きさ、作図に用いられる図形の約束や性質の理解。

⇒ かけわり図を使うなど、分かりやすい授業をめざすとともに、反復練習を実施し、子どもたちの学力の向上をめざす。

##### 《算数B》……ふたこぶらぐだ状態

○「見通しをもち(2位数)×(1位数)ができる」「全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択する」「公倍数を用いて問題を解く」に関しては、高い正答率であった。

●示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる。

●「式や言葉を使って書きましょう。」

「その月の棒がわくに入らないわけを、言葉と数を使って書きましょう。」

「その番号を選んだわけを、言葉と数を使って書きましょう。」

「求め方を言葉や式を使って書きましょう。」

上記のような問題での正答率が低かった。

⇒ 筋道を立てて考えることができる力を育むことが重要である。それとともに、口頭だけではなく、書いて説明するという学習を増やす必要がある。このようなことを通して、子どもたちの学力の向上をめざす。

## 【児童質問紙から】

○→肯定的評価（あてはまる・どちらかといえばあてはまる）が、大阪府平均、全国平均を上回る。

△→肯定的評価が、大阪府平均、全国平均と同じ程度。

●→肯定的評価が、大阪府平均、全国平均を下回る。

### <学習・学習意欲に関わること>

○調べ学習、調べたことの発表、話し合い活動をよく行っていることに関しては、肯定的評価がたいへん高い。

#### (国語科)

○自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書く。

△国語の勉強は好きである。

△国語の勉強は大切だし、社会に出たときに役に立つ。

●1000字程度の感想文や説明文を書くのは難しい。

#### (算数科)

○算数の勉強が好きである。

○問題を解くとき、もっと簡単な方法がないか考える。

△算数の勉強は大切である。

△新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。

△解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える。

△学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。

### <家庭学習や読書に関わること>

○家で学校の宿題をする。

△家で学校の授業の予習、復習をしている。

△家庭での学習時間が、1時間以上2時間未満の子どもが最も多い。

○学校図書館や地域の図書館に週1～3回行くという子どもが最も多い。

●読書は好きですか。

●家庭での読書時間が、10分未満の子どもが最も多い。

### <学級や学校での生活に関わること>

○いじめはいけないことである。

○友だちに、伝えたいことをうまく伝えることができる。

△学校に行くのは楽しい。

△学校のきまりを守っている。

### <自尊感情や将来に対する意識に関わること>

○ものごとを最後までやりとげて、うれしさを味わう。

○難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する。

○自分にはよいところがある。

○将来の夢や目標をもっている。

### <テレビやゲームなどに関わること>

○テレビやDVDを見たり聞いたりする時間<平日> 2時間未満：50%

○携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間：持っていない65%

△テレビゲームなどゲームをする時間<平日> 2時間未満：75%

### <地域や社会に関わること>

○今住んでいる地域の行事に参加している。

○地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。

△地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。

△ニュース番組を見る。

### <今後のとりくみについて>

#### ① 授業の工夫改善に向けてのとりくみ

「学ぶ楽しさを実感させる教育の推進」という研究テーマを設定し、「全ての教育活動において言語活動に重点をおいた授業づくりを進める」ということを具体的なとりくみの柱としています。研究テーマを達成するために授業力の向上をめざすとともに、言語事項・コミュニケーション力の育成を大切にした指導を今後も行っていきます。また、学校教育自己診断等でいただきます保護者の方等からのご意見を参考に、さらなる授業の工夫改善にとりくんでいきます。

#### ② 基礎・基本の徹底

これまでも朝学習、吉小タイム、放課後学習、毎日の家庭学習など日々の積み重ねを大切にされた学習にとりくんできました。今後も反復練習や家庭学習の充実を保護者の皆さんと連携しながら進め、子どもたちの基礎・基本の定着を育てていきます。また、各学期末に全学年で“力だめし”のプリントを実施することにより、今後の指導に活かしていきます。

#### ③ 読書活動の充実

朝の読書タイム、吉小広場での吉小サポーターによる読み聞かせ、学校図書館の放課後開放や「うちどく」など、本に親しみ読書量を増やす活動を進めています。読書は学習の源であり、生きる力を育てていくものと考えています。今後も、家庭と連携しながら読書習慣が身につくよう、とりくみをすすめていきます。

#### ④ 吉小サポーターとともにつくる授業

たくさんの方の保護者、地域、学生の方々が、サポーターとして登録してくださっています。地域学習「吉川学」では、サポーターの方から地域のすばらしさを子どもたちが学んでいます。また、「墨絵」「国際理解教育」「食育」「クラブ活動」などでもお世話になっています。今後も、「よしかわ」だからできる、「よしかわ」しかできない、「よしかわ」を誇りに思えるとりくみを進めていきます。

調査結果からは、課題も見えています。これらの課題解決に向けて教職員一同、より一層の努力を積み上げていくとともに、保護者・地域の皆様のご協力を得て、ともに子どもたちの健やかな成長を見守り、支えていきたいと考えています。今後ともよろしくお願い致します。